

でんきと私

兵庫県立洲本実業高校 電気科 2年

長田 翔一

「エジプトはナイルの賜物」と教えられたが、現代社会は電気の賜物といえるのではないだろうか。

その一つであるスマホは、本当に便利になってきている。友達との連絡はもとより、おさいふ携帯や資格の願書手続きなど、スマホ片手でできるようになっている。ただし、項目内容が増え、かえって面倒になっているようにも思える。さらに、必要なデータがすぐにキャッチできる状況ではなく、まだまだ情報連携が十分ではないように思われる。

正しく信頼できるデータがあり、さらに手軽に入手できれば、専門家に判断を委ねなくとも、我々でも即座に判断できる社会がやってきているように思われる。今回の疫病拡大に関わる解説者の話をお聞きしても、ほとんど現状が把握できていないのではないかと思われるような解説が目につく。正しいデータが入手できていないか、データあっても活用できてないかのいずれかであろうが、もし后者であれば大変なことである。

政府は、デジタル化を推奨しており、さらに5Gの導入によりネットワークの連携がより緻密になり便利になることが期待されている。ところが、学校や公共の場では、スマホの使用が禁止されていたりする。このように、一方で推進する人がいて、他方で規制をかける人もいる。結局のところ、電気の利便性を享受できるのは一部の特別な人で、複雑な規制のルールに縛られつつデジタル・ディバイドを心配している一般の人々のいらだちを感じずにはいられない。今回の疫病拡大により、社会のありかたが少しだけ見えてきたように思えるのは私だけではないだろう。

結局のところ、電気が利用され利便性が向上しても、それを使用する人が正しく公平に用いることができなければ、意味がないように思える。古代エジプトが繁栄したように、電気のちからで豊かで安定した先進国に変容できるように問題点を正しく見極め改善できる電気技術者として成長したいと考えている。